

(様式1) 令和2年度 那須烏山市立境小学校 学校評価報告書

項目	重点目標・具体策 (○：市の重点目標) (◇：本校の重点目標)	取組状況・成果・課題	評価	改善策	学校関係者の評価者の意見等
学校運営・教育課程	○「生きる力」を育む特色ある教育課程の編成、実施に努める。	○学校教育において重視すべき3要素「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を3つの柱としてバランスのよい児童の育成に努めた。 ○学校の働き方改革に対応するため、教育課程や学校行事などの在り方を見直し、来年度に向けて調整を図った。 ●行事については、さらに内容を精選したり、各教科との関連を明確にしたりすることが必要である。	A	○本校の児童や地域の特色を考慮し、「生きる力」を育成する教育課程の改善を図る。 ○授業時数の確保や日課表、補教体制等管理を適切に行う。 ○学校の働き方改革に対応した行事の在り方についてさらに検討していく。	・令和2年度はコロナ禍の中で授業時間の確保など困難な年であったと思われませんが、児童数が少ないことをよく目が行き届くこととして、プラス思考で考え特色ある学校カラーを出してほしい。 ・生きる力として社会に出て自立できること、仕事の大切さなど、児童にお伝えいただきたいです。 ・先生方も余裕のある私生活を送れるように働き方が変わる事が望ましいと思います。 ・働き方改革に基づき、運動会の午前中終了を行っていただき、教職員の皆様、保護者の負担軽減が図られることを希望します。
	◇児童の実態や地域の実情、保護者・教職員の願いを考慮した特色ある学校づくりに努める。	○教職員間で児童や地域の実態を把握し、情報交換を密に行い、連携・協力しながら指導にあたる体制づくりが構築できた。	B	○今年度の反省を生かし、更に工夫・改善を加えながら、より児童や地域の実態にあった学校づくりを継続して取り組んでいく。	・児童の家庭状況や地域の実情を知ることが大切である。今後とも実情把握に努め、学校づくりの中で生かしていただきたい。 ・境小らしさとは地域との連携にあると思うので、PTA 役員は保護者全員からの声を聞き、学校にきちんと伝えるように努力すること。 ・先生方の努力が伝わっています。
	◇特別の教育課程実施により、コミュニケーションの楽しさを体感できるような授業を工夫する。	○ALT・外国語教育専科教諭と学級担任との連携協力体制を構築して授業の工夫改善に努めた。	B	○ALTと児童が交流できるよう教育計画改善や環境作りを工夫していく。	・ALTの出身国などについて児童が調べた上で、ALTとの交流学习を進めるとよりいっそう学習効果が上がるのではないかと。 ・子どもは英語が楽しいと言っています。 ALTの先生もいろいろ授業に顔を出してくれるとうれしいです。
学習指導	○知的学力を保障し、学ぶ意欲を引き出し、コミュニケーション能力を育む確かな指導力に裏付けられた質の高い授業の展開に努める。	○学習指導主任が中心となり、学校課題を設定し、一人1回の研究授業と授業研究会を通して授業力向上に努めた。 ○学力向上推進リーダーを活用し、指導力向上のための勉強会等を積極的に行った。 ●児童の主体的・対話的で深い学びやコミュニケーション能力の育成のための取組には更に工夫改善が必要である。	B	○学力向上改善プランを検証しながら、更に継続して指導力の向上に努める。 ○「話す」「聞く」「話合う」指導を重点化して指導にあたるなど、更に研究を深め、学びあいのスキルを高めていく。 ○聞き取り名人等の活動を充実させ、さらに児童の表現力の向上を図る。	・指導力向上を進めると同時に児童のやる気を出させることが大切だと思います。具体的な重点目標を設定してその実現をはかっていただきたい。 ・学ぶ楽しさが意欲につながると思います。ご指導よろしくお願ひいたします。

<p>◇授業の工夫・改善を図り、児童の意欲を高め、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成に努める。</p>	<p>○校内漢字テスト・計算テストの定期的な実施や家庭学習強調週間の設定を通して、自主学習に取り組む児童が増えた。 ●児童の情報処理能力に向上に向けて、ICTを活用した授業の工夫が必要である。</p>	<p>B</p>	<p>○プログラミング教育の充実に向けて、職員のICT技術向上を図っていくとともに、その成果を活用し、授業改善に努めていく。 ○保護者と連携しながら、更に工夫・改善を加え、家庭学習の充実を図る。</p>	<p>・「ここまでできた」という自覚の上に学習意欲を引き出せるような指導を行っていただきたい。 ・学年によって宿題の量が違いすぎる。集中力と継続力を考えた全体的な統一感はどう少しあってもよいのではないかと。 ・自主学習を行う児童が増えたことはよいことだと思います。</p>
---	--	----------	---	--

<p>児童生徒指導</p> <p>○学級を核とした、相互理解に基づく望ましい集団づくりに努める。</p>	<p>○運動会や児童会活動等の学校行事を通して、相互に助け合う集団づくりに努めた。 ●日常の指導については、学級の実態に応じた工夫・改善が必要である。 ○人権週間を設定し、児童、教職員に対して意識を向上させる取組ができた。 ○学級経営や学業指導の充実を図るとともに、小規模校の特性を活かし、組織的な対応に努め、全校で望ましい集団づくりに取り組んできた。 ○花立タイムでの活動や縦割り班活動を通して、上学年が自覚をもって下学年の面倒を見られるようになってきた。</p>	<p>B</p>	<p>○日常の指導において、道徳教育や学業指導の充実を目指した取組を強化していく。 ○望ましい集団づくりを目指し、保護者や地域の方々と連携しながら、更に工夫・改善しながら取組を継続する。</p>	<p>・児童数が少ないことで上学年の児童から下学年の子まで顔がわかる学校づくりができると思います。このよさを生かせる学校づくりを引き続きお願いしたいと思う。 ・個人個人は明るく素直な子が多いが、団体となると調子にのってしまう子が現れる。団体行動での在り方との中で個の意志を明確にできるよう、保護者も家庭において教育する必要がある。 ・現状でも素晴らしいと思います。 ・縦割り班活動により、地域交流ができ、小規模校での親密な関係が築ける事がとてもありがたいです。</p>
--	---	----------	--	--

<p>◇全教職員の共通理解と協働体制のもと、あいさつや言葉遣いなど基本的な生活習慣の確立ときまりを守るなど規範意識の高揚に努める。</p>	<p>○職員会議等で児童指導関係の情報交換を実施し共通理解を深めるとともに、問題発生時は迅速かつ組織的な対応で児童指導を進めるよう努めた。 ●あいさつや学校のきまりの徹底、規範意識の高揚については更に指導の工夫が必要である。 ○姿勢については、姿勢の日の実施や学校保健委員会での取組等を通して向上が見られるようになってきた。</p>	<p>B</p>	<p>○児童指導体制の確立を更に深め、道徳教育や人権教育の充実を図りながら規範意識を高めていく。 ○基本的な生活習慣の確立のためには、重点指導事項を設定したり、ABC/R運動の展開の工夫を図ったりするなど改善を加え、全校体制の根気強く取り組んでいく。</p>	<p>・あいさつは大切です。誰とでも気軽にあいさつができるよう引き続きご指導いただきたい。 ・高学年になると逆にあいさつができなくなる児童が増える。全ての会話の始まりはあいさつからである。改めてその大切さを毎日家庭と学校で伝えなければならない。 ・挨拶のできる児童は境小の学生の代名詞だと思います。市街地の学生さんよりよくできていて誇れることだと思います。 ・あいさつができない事が目につきます。低学年ができない事は上学年の見本となる行動が欠落しているように感じますので、高学年ほどあいさつの必要性を感じ自覚をもって行動していただきたいです。</p>
---	--	----------	--	---

<p>特別支援教育</p> <p>○関係諸機関と適切な連携を図った、児童生徒一人一人に応じた指導に努める。</p>	<p>○すこやか推進室や専門機関との連携により、個に応じた指導が図られている。 ○特別支援教育の基本的な考え方や適切な支援の在り方等について学ぶことができた。</p>	<p>A</p>	<p>○引き続きすこやか推進室や医療機関等との連携に努め、更なる充実を図る。</p>	<p>・関係機関と連携を密にし、引き続き適切な指導をお願いしたい。 ・手厚い対応をしていただいていると思います。</p>
---	---	----------	--	--

<p>◇保護者との連携を踏まえ、関係機関との連携を図りながら、組織として個に応じた支援・指導の充実を図る。</p>	<p>○特別支援教育コーディネーターを中心として、個別の応援計画の作成等の校内研修により、共通理解を深め、指導体制を整えることができた。</p> <p>○学年懇談会等保護者との話合いの機会を設け、一人一人のニーズを把握し、個に応じた支援・指導の充実に努めた。</p> <p>○時間割の工夫等児童の特性に合わせてチームとして対応してきた。</p>	<p>A</p>	<p>○すこやか推進室や医療機関等からの情報を活用し、事例研究等さらに研修を深めていく。</p> <p>○保護者との連携を更に充実させていく。</p>	<p>・保護者から学校にのぞむことなどスムーズに意思疎通ができるようにして支援、指導に生かしていただきたい。</p>
---	--	----------	---	--

<p>保健・安全管理</p>	<p>○心身ともに健康で明るく安全な生活を送るための基礎が培われるよう、健康教育の充実に努める。</p>	<p>●児童の体力向上については、運動する環境の整備や意識を高める指導の工夫が必要である。</p> <p>○養護教諭を中心として、年数回の身体計測や児童集会での保健委員会の発表等を通して、児童に健康について考えさせる機会を設けている。</p> <p>○月毎の目標を提示し、時期や児童の実態に応じた指導がなされている。</p>	<p>A</p>	<p>○体力づくりについては、今後も運動の必要性を理解させ、意識を高める指導の工夫・改善しながら取り組んでいく。</p> <p>○基本的な衛生習慣を身に付けさせるために、更に継続して充実を図っていく。</p>	<p>・スクールバス、ゲーム機（PC、スマホ含む）利用などにより、日常体を動かすことが少なくなっているように思われます。楽しくできる体力づくりを工夫していただきたい。</p> <p>・いろいろな問題があるのだと思いますが、外部の方に手伝っていただきながらの活動もあるとよいと思います。</p>
	<p>◇「歯と口の健康づくり推進事業」の継続等健康教育の推進を図るとともに、自分の身は自分で守る意識を高め、事故を防止する安全指導の充実に努める。</p>	<p>○歯科衛生士による歯科指導など、継続して「歯と口の健康づくり」に取り組んでいる。</p> <p>○交通安全教室を年2回実施し、事故防止に対する意識付けを図ってきた。</p> <p>○不審者・竜巻・地震・火災の避難訓練を工夫を加えながら実施し、種々の災害に対応できるよう安全指導の充実に努めた。</p>	<p>A</p>	<p>○「歯と口の健康づくり」は、保護者への啓発を強めていく。</p> <p>○バス乗車時の過ごし方や登下校の歩行の仕方等も継続して取り組んでいく。</p> <p>○児童の危険予知能力（判断力）の育成については、さらに工夫・改善をしながら継続していく。</p>	<p>・現在の取組を今後とも継続して実施していただきたい。</p> <p>・よくお伝えいただいていると思います。</p>
<p>地域との連携</p>	<p>○地域連携教員を要として、地域の特性を生かした教育活動を展開し、地域に根ざした特色ある開かれた学校づくりに努める。</p>	<p>○生活科や総合的な学習の時間等において、地域の人材の力を借りて様々な教育活動を展開することができた。</p> <p>○特に郷土芸能（お囃子）活動やオオムラサキ、そば、みかん等地域の資源を活用した取組の成果があった。</p> <p>○地域コーディネータとの関わり方について、生涯学習課等の関係機関と連携し、推進していく必要がある。</p>	<p>B</p>	<p>○日常的に地域を感じる活動を取り入れるなど、更なる充実を図っていきたい。</p> <p>○地域コーディネーターと地域連携教員の役割を明確にし、年度当初の計画作成に活かす。</p>	<p>・地域資源の活用や人材活用を通して今後も特色ある学校づくりを進めてください。</p> <p>・よい活動をしていただいていると思います。</p> <p>・お囃子やオオムラサキ、みかんなど、地域の資源を活用した取組はすばらしいと思います。今後も継続してほしいです。</p>
	<p>◇家庭や地域への情報発信を密にするなど連携を図り、信頼される学校づくりに努める。</p>	<p>○学校だよりや学年だより、ホームページの更新等により、情報発信がよくなった。</p> <p>○学校行事等へ参加する保護者が多く、協力的で、教育活動に対しての意識が高くなってきている。</p>	<p>B</p>	<p>○地域や家庭との連携を一層充実させ、信頼される学校づくりに努めていく。</p> <p>○県や市の方針のもと、学校として適切な行事のもち方を継続して検討していく。</p>	<p>・感染症の関係で学校行事の在り方、地域との連携が困難になっていると思われるが、情報発信はこまめに行っていただきたい。</p> <p>・ホームページ等楽しく拝見しています。よい活動だと思います。</p>

●行事の在り方と感染症拡大防止対策についてはさらに協議をしていく必要がある。

・感染症対策をしながらの学校行事等、難しい一年でした。今後も、学校やPTAの方々と連携協力していきたいと思いました。